

消防車両運転技術向上訓練の実施

森町消防本部

森町消防本部では令和3年2月7日、14日の2日間にわたり、地元の森自動車学校に協力して頂き、教習コース内にて運転訓練を実施。対象者は、現場経験が少なく経験年数の浅い若手職員が対象です。機関員として経験豊富な職員が指導者となり、若手職員の事故防止及び運転技術の向上や車両誘導する際のスキルアップを図りました。本訓練を通じて車両感覚を養うことで、迅速且つ安全・確実に現場へ急行する際の、危険予知や安全管理へと繋がる、大変貴重な訓練となりました。



梯子車中継送水訓練を実施

海老名市消防本部

令和3年1月9日、海老名市消防署南分署（敷地内及び訓練塔）において梯子車中継送水訓練を実施しました。当市では近年都市開発が進み、高層建築物が増えていることから、梯子車による迅速かつ効率的な活動が重要となります。消防隊及び救助隊が連携しポンプ車から梯子車への中継送水訓練及び梯子車からの放水さらに建物へ進入しての放水訓練を行うことで、安全、確実な災害現場への対応及び知識、技術の均一化、更なる連携技術の向上を図ることを目的として訓練を実施しました。



消防通信

望

楼

ぼうろう

林野火災を想定した総合訓練を実施

八尾市消防本部

八尾市消防本部では、秋季火災予防運動の一環として、令和2年11月12日に林野火災を想定した消防総合訓練を実施しました。消防団との連携による中継送水及びホース延長などの実践的な消火訓練や消防ヘリ（大阪市消防局航空隊）からのヘリテレ映像伝送による情報収集に加え、令和2年8月に災害時における水利確保の協定を締結した「大阪広域生コンクリート協同組合」のミキサー車による給水訓練を実施し、林野火災防御技術の向上と消防団、関係機関との連携強化を図ることができました。



コロナ禍における応急手当の普及啓発について

西宮市消防局

西宮市北消防署では、応急手当の普及啓発の一環として、例年、管轄区域内の小学校を対象に救急講習会を実施しています。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、小学校での救急講習会の開催は見合わせる事となったため、救急講習会の代わりに小学生向けの冊子「覚えよう！心肺蘇生法とAED」を作成し配布しました。

この冊子は、小学生に「命」の大切さについて考えてもらうことを目的に、イラスト等を多く用いて、小学生が興味を持てる構成としています。

今後も、継続的に応急手当の普及啓発を実施し、救命率の向上に取り組んでいきます。



消防通信／望楼では、全国の消防本部、消防団からの投稿を随時受け付けています。

ご投稿は、「E-mail:bourou-fdma@ml.soumu.go.jp」まで【225文字以内の原稿とJPEG画像を別ファイルで送付してください】